

イタリアの世界的名弦楽合奏団

イ・ムジチ合奏団

2007/11/3(土)18:30 開演
東京オペラシティ コンサートホール



子ども音楽新聞

この秋、
*やっ てくる!!

2007年 秋号

Sony Music Foundation

スペシャル・コンサート・シリーズVol. 4は

がっそうだん し き けてい
イ・ムジチ合奏団の「四季」に決定!!

がっそうだん
イ・ムジチ合奏団って、なあに？

文：柴田克彦

イ・ムジチ合奏団は 1952年、イタリアでもっとも有名な音楽学校、ローマのサンタチエーリア音楽院の卒業生12名によって結成されました。「イ・ムジチ」とは「音楽家たち」を意味するイタリア語。若者たちの自信と意気ごみを感じさせる名前ですね。彼らはデビュー当時から、イタリアの歴史的な大指揮者トスカニーニに「素晴らしい！」と言われるほどの演奏をきかせて注目を集め、以来55年ものあいだ、世界のトップ合奏団として活躍を続けています。



彼らのすごさはまず、最初から指揮者を置かず、メンバーそれぞれがみな責任あるソリストの立場で演奏にのぞんだこと。これは、後に数多く登場した同じスタイルの合奏団のモデルともなりました。そしてイ・ムジチといえば、ヴィヴァルディ作曲の「四季」がトレードマーク。レコードがベストセラーとなり、また彼らは世界各地で演奏して、この曲を誰もが知る名曲の座に押し上げたのです。

日本でも、1960年代後半から「四季」のレコードが大ヒットし、1987年には200万枚をこえるという、クラシックでは考えられない売り上げを記録しました。来日公演も毎回大人気。特に彼らがえらいのは、東京のような大都市だけでなく全国各地をくまなく回ったことです。ですからふだんは世界的音楽家にふれる機会の少ない人たちも、演奏を楽しむことができました。そのため「初めてのクラシック体験がイ・ムジチ」「イ・ムジチをきいて、クラシックが好きになった」という人が日本にはとても多いのです。

イ・ムジチの「四季」は、さわやかさとやわらかさをもった、ごく自然な演奏。初めての人にも親しみやすく、また何度きいても飽きが来ません。時とともにメンバーも少しずつ代わってきましたが、最初のメンバーの子供が後を継いだケースなどもあって、その魅力はずっと引き継がれています。22回目の来日となる今回も、みなを大いに楽しませてくれることでしょう。



イタリアって、どんな国

みんなは、ピザとか、パスタ(スパゲティ)とか、ティラミスとか食べたことあるかな？

とってもおいしいよね！

みくんな、イタリアからやってくるんだよ！

イタリアって、ながべつみたいな形をした国なんだ。表紙をみてごらん♪

イタリアには、イ・ムジチ合奏団の発祥の地、首都「ローマ」のほかにも、

二〇〇六年冬季オリンピックがおこなわれた「トリノ」、

水の都「ヴェネツィア」、

おしゃれの発信地「ミラノ」と

とても有名な都市がいっぱいあるんだ。

日本からイタリアまでは、飛行機で十二時間もかかるよ。ちょっと遠いけど、いつか行ってみてね！





「四季」ってどんな曲？

左のおじさんは、「四季」という曲を作ったヴィヴァルディという人だよ。
作曲家でありヴァイオリニストであったヴィヴァルディ。
決して裕福とはいえない環境で育ったにもかかわらず、
音楽の勉強をやめなかったそうだよ！今では世界中の人に愛されている名曲が残っているよね！

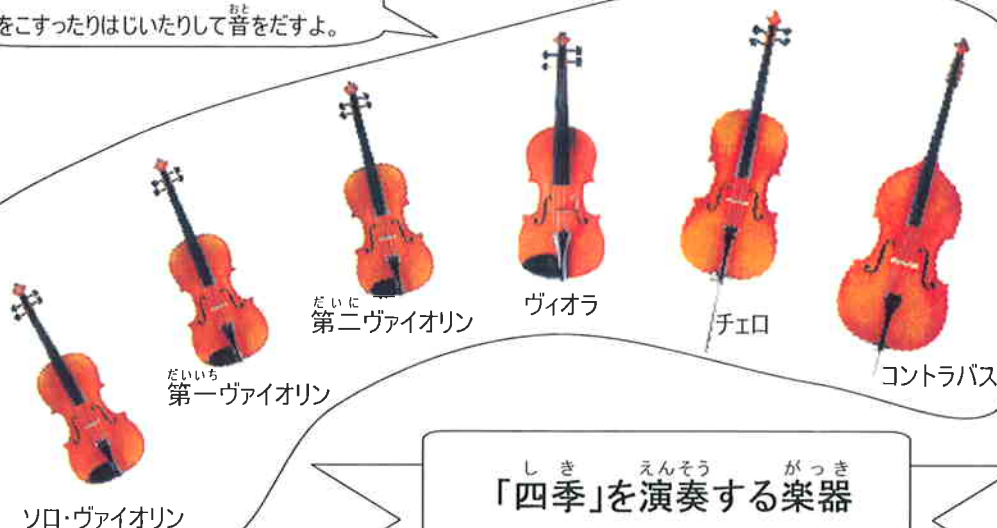
☆アントニオ・ヴィヴァルディ☆
(1678~1741) イタリア

日本だと、江戸時代(1603~1868)に生きてたってことだ！すごい昔の人なんだね！！

「四季」は、その名の通り「春」「夏」「秋」「冬」の4つの曲でできているんだ。
それぞれの季節を、音楽であらわしているんだよ！

- ♪春…春がやってきた！いきいきとした鳥のさえずりや、川の流れ、雷の音がきこえるかな？
- ♪夏…かんかんと照りつける太陽。突然やってくる北風。夏の激しい天気の変化が目にかびます。
- ♪秋…畑では収穫がおわり、みんな幸せそう！村人たちは、狩に出かけます。
- ♪冬…寒くて、きびしい冬だけど、部屋に入るとあたたかいよね。もう、そこまで春はやってきています。

弦楽器は、馬のしっぽの毛をはった弓で、弦をこすったりはじいたりして音をだすよ。



ピアノと似ているけど音は全然ちがうよ！
ピアノよりも古い時代の楽器なんだ。



チェンバロ

「四季」を演奏する楽器

楽器の説明は、子ども音楽新聞 第1刊をみてね！

<http://www.smf.or.jp/kodomo/>

イ・ムジチの四季ってすごいんだよ！

クラシック音楽に興味をもった小学生の頃、最初にふれた曲は、ベートーヴェンの「エリーゼのために」や「運命」でした。でもレコードのベストセラーをみると、いつもイ・ムジチ合奏団の「四季」という曲が第1位…。かの「運命」の上をいく「四季」とイ・ムジチの名が気になって仕方ない私は、そのレコードをきいて、バロック音楽の魅力を知りました。つまりイ・ムジチは、広く様々な音楽をきく楽しみ、また演奏家の名を意識して音楽をきく面白さを教えてくれたのです。時はたち、私は偶然にもイ・ムジチを日本に招いている会社に入りました。そこでは、メンバーたちと接して不思議なつながりに感動し、彼らの飾らない人柄を知って、「これも人気のひけつかな」と感心もしました。そしてフリーになった今も、イ・ムジチのことを書く機会が与えられています。最初に名前を意識した演奏家イ・ムジチとの関係に、人生の“縁”を感じずにはおれません。

しばたかつひこ

証言その1：柴田克彦（音楽ライター）の場合

初めて聴いて、子ども心に“音楽ってすごい”と思ったのが小学校のとき、近所の文化会館にやってきた「イ・ムジチ合奏団」だったことを今でも鮮明に覚えています。九州の田舎町で生まれ育った私は、音楽一家でも何でもないのにピアノが大好きで、今で言うストーカーのように3つ年上のお姉ちゃんのお稽古と一緒に行ききたがり、「レッスンの邪魔だから」と何度となく私をまいてお姉ちゃんだけを連れて行くこうとする母を家の前でやっつとしながら待っていた、という変な子どもだったそうです。そんな家庭だったからか、小学校に入るとすぐ、「演奏会と映画には一人で行ってもよし」と許可されていた。近所に来るものすべて観て、聴いていた中で、本当に、ものすごい衝撃だったものは、どんなフルオーケストラよりも、ドラえもんの映画よりも、「イ・ムジチの四季」だったわけです。今、こうやって、音楽に携わる仕事をするようになったのも、あの時の原体験があったからだろうと思います。

子どもの時代には、四季を感じるセンチメンタルな気持ちはないかもしれませんが、でも、みんなが大人になって、春の浮き立つ気持ち、夏を迎えるワクワク感、秋の紅葉前線を追いたくなくなってしまいう衝動、そしてだんだんと寒くなっていく冬と、そしてまた暖かくなるそのゆるやかな移り変わり…大人になって改めて四季を聴いてみると、その彩りの豊かさに、何度となく感動してしまっわけです。

色んな人たちが、色んな思いで“四季”を演奏します。どれも素晴らしい演奏ではあります。私にとってこの「イ・ムジチの四季」は特別なもの。そんな特別な音楽を、たくさん子どもたちに届けなければいけない、そんな責任を感じながら、この仕事を続けてきたのかもしれない。

やっとその機会がやってきた今年の秋、十一月三日に、東京オペラシティで皆さんとお目にかかれることを

楽しみにしています。

“イ・ムジチの四季”には、音楽の魔法が隠されているみたいです。



証言その2：岩田美紀

いわたみき

(Sony Music Foundation プロデューサー) の場合

さあ！家族そろって、 イ・ムジチ合奏団を聴きにいこう！！



【日時】2007年11月3日(土・祝) 午後6時30分 開演(午後6時開場)
 【場所】東京オペラシティ コンサートホール 京王新線(都営新宿線)「初台」駅東口
 【出演】イ・ムジチ合奏団
 【曲目】ヴィヴァルディ「四季」
 【料金】小学生:2,000円/中学生・高校生:2,500円
 小学生・中学生の同伴者・保護者:4,000円 (全席指定・税込)
 ※1人でも多くのお子さまに聴いていただきたい為、大人のみ購入はお断りいたします。
 ※コンサートは約1時間です。
 ※未就学のお子さまのご入場はお断りいたします。

【お問合せ・お申込み】

Sony Music Foundation 03-3261-9933(平日 10:00~18:00)

【プレイガイド】

アルファ・チケット 03-6809-1915(平日 10:00~17:00)
 チケットぴあ 0570-02-9990(オペレーター対応)
 ※チケットぴあはホームページからのお申込は受け付けておりません。
 イープラス <http://eplus.jp/>
 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

Sony Music Foundation では、こんなコンサートも企画しています！



0才まえのコンサート ~ママのおなかは特等席~
 おなかの赤ちゃんとお母さまへ、
 素敵な音楽の贈り物。
 【11/10 津田ホール】



Dream Seats
 厳選したコンサートのチケットを
 小・中・高校生を対象に、特別価格で！
 メンバー大募集中！（メンバー登録無料）



Concert for KIDS~0才からのクラシック~
 0才のお子さまと一緒にご入場できる大人気の
 コンサート・シリーズ。いろいろな内容で、おとなにも
 聴き応えのあるクラシックの名曲をお届けします。



Concert for KIDS~3才からのクラシック~
 3才以上のお子様ならこちらを！
 迫力ある音楽を、親子でじっくり聴きたい方へお届けします。



詳しいコンサート情報は
 Sony Music Foundationの
 HPにて随時更新中！
 →<http://www.smf.or.jp/>

発行：財団法人ソニー音楽芸術振興会(Sony Music Foundation)

〒102-0076東京都千代田区五番町5-1 JS市ヶ谷ビル7F

TEL:03-3261-9933 FAX:03-3261-9898 Email: smf@sonymusic.co.jp

URL:<http://www.smf.or.jp>

発行人：齋藤成人

編集：岩田美紀・川崎映子・高堀明日香・柴田克彦 / 絵：松井由美子

* 当財団では、個人情報保護法に基づき、個人情報について厳重な管理をしております。ダイレクトメール等のご案内が不要な方は、
 当財団までお電話にてご連絡下さい。 電話：03-3261-9933